

# 社 会（歴史的分野）

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい社会 歴史
17	教	出	中学社会 歴史 未来をひらく
35	清	水	新中学校 歴史 日本の歴史と世界
46	帝	国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
116	日	文	中学社会 歴史的分野
225	自	由社	新しい歴史教科書
227	育	鵬社	中学社会 新しい日本の歴史

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	歴史上の人物に関する事例数と具体例、文化遺産、神話・伝承等に関する具体例
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	歴史に見られる国際関係や文化交流に関するコラム等の数と具体例
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫及び具体例
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	「身近な地域の歴史」を調べる手順及び視点やポイント
		⑥ 作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の事例数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列・分量	各時代区分のページ数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	発展的な学習の事例数と事例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑩ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注等の扱いと掲載数
(オ)	言語活動の充実	⑪ 多面的・多角的に考察させるための工夫	小單元における問いの構成
		⑫ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	まとめ方の種類と具体例

<b>視点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの目標等の記載の仕方	記載例
東書	○ 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の政治改革」,「大化の改新」等の項目で示し,タイトル右横に「どのような」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「古代国家の歩みと東アジア世界」 ○ 「聖徳太子は,どのような政治をめざしたのでしょうか。」 ○ 「大化の改新の政治は,どのように進展していったのでしょうか。」
教出	○ 見開きごとにタイトルを「あつく三宝を敬え」,「律令国家への歩み」等の項目で示し,タイトル右横に「聖徳太子の政治と飛鳥文化」,「大化の改新と大宝律令の制定」等の学習事項を表す副題を示している。タイトル下に「なぜ」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「大帝国の出現と律令国家の形成」 ○ 「東アジアの動きのなかで,大和政権はどのような国づくりをめざしたのでしょうか。」 ○ 「大化の改新をきっかけに,国家のしくみはどのように変わっていったのでしょうか。」
清水	○ 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の政治と飛鳥文化」,「律令国家をめざして」等の項目で示し,タイトル左横に「なぜ」,「どのような」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「律令国家の成立」 ○ 「ヤマト王権はどのような国をつくろうとしたのだろうか?聖徳太子は何をめざしたのだろうか?」 ○ 「天皇たちがめざした政治のしくみはどのようなものだろうか?」
帝国	○ 見開きごとにタイトルを「ヤマト王権と文教伝来」,「律令国家をめざした」等の項目で示し,タイトル左横に「どのような」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「中国にならった国家づくり」 ○ 「蘇我氏と聖徳太子は,どのような政治を行ったのでしょうか。またどうして仏教を取り入れたのでしょうか。」 ○ 「倭(日本)は律令を取り入れることで,どのような国をつくろうとしたのでしょうか。」
日文	○ 見開きごとにタイトルを「東アジアの統一国家」,「律令国家をめざして」等の項目で示し,タイトル右横もしくは下に「どのような」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「日本の古代国家の形成」 ○ 「ヤマト王権は,どのような国際環境のもとで,どのような国づくりを進めていったのだろうか。」 ○ 「大化の改新によって,日本の政治のしくみはどのように変わったのだろうか。」
自由社	○ 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の新しい政治」,「遣隋使と天皇号の始まり」,「大化の改新」等の項目で示し,タイトル下に「どのような」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「律令国家の建設」 ○ 「聖徳太子が新しい政治を始める背景は何だったのだろうか。」 ○ 「聖徳太子の隋に対する対等外交と,天皇という称号の間にはどんな関係があったのだろうか。」
育鵬社	○ 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の国づくり」,「大化の改新と激動の東アジア」等の項目で示し,タイトル下に「どのような」,「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	「『日本』の国の成り立ち」 ○ 「聖徳太子がめざした政治とはどのようなものだったのだろうか。」 ○ 「大化の改新とはどのような国づくりをめざしたものであったのだろうか。」

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<b>方法</b>	歴史上の人物に関する事例数と具体例

	索引人名数	コラム・資料 等で扱われて いる人物数	具体例(板垣退助)
東 書	300	75	政府を去った板垣退助などは、これを専制政治であるとして批判し、国民が政治に参加できる道を開くべきだと主張して、1874(明治7)年1月、民撰議院設立の建白書を提出し、国会の開設を求めました。
教 出	260	30	そこで、1874(明治7)年、政府を退いていた板垣退助らは、民撰議院設立建白書を政府に提出して、少数の有力者による専制政治をやめ、早く民撰議院(国会)を開くように主張しました。
清 水	238	54	選挙や議会の必要をはじめて世に訴えたのは、征韓論を主張して政府をやめた板垣退助たちであった。1874(明治7)年、彼らは、民撰議院設立の建白書(意見書)を政府に差し出し、薩長出身の役人の専制をやめて、公議をさかんにするため、選挙による議会をつくるよう主張した。
帝 国	218	51	一方、同じく政府を去っていた板垣退助らは、武力でなく言論によって政府の専制政治を批判しました。1874年、民撰議院設立建白書を政府に提出し、人々の意見を政治に反映させるために、国民が選んだ議員がつくる国会の早期開設を要求しました。
日 文	209	45	これに対して、征韓論の論争に敗れて政府を去った板垣退助たちは、国民の意見を政治に反映させようとししました。そして、1874年に、民撰議院(国会)開設の要求を政府に出しました。
自 由 社	254	74	1874(明治7)年、前年の征韓論をめぐる政変で政府を去った板垣退助らは、民撰議院(国会)設立の建白書を政府に提出し、国民が政治に参加する道を開くことを求めた。建白書の提出とともに、板垣は高知県に士族中心の政治結社である立志社をつくった。
育 鵬 社	497	123	征韓論を主張して政府を去っていた板垣退助は、薩摩・長州などの出身者による藩閥政府を批判し、1874(明治7)年、民撰議院設立の建白書を政府に提出しました。また、高知県に立志社という団体をつくりました。こうして、国会の開設を求める自由民権運動が始まりました。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<b>方法</b>	文化遺産，神話・伝承等に関する具体例

	文化遺産に関する具体例	神話・伝承等に関する記述内容等
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表見返しから計4ページで「日本の世界遺産」(14か所)「日本の国宝」(10点)を写真で取り上げ、裏見返しで「各地のおもな史跡」(10か所)を地図と写真で取り上げている。</li> <li>○ 本文中の「世界遺産」,「国宝」の資料にマークを付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「国のおこりや大和政権の王たちについての神話や伝承も、しだいに形づくられていきました。」</li> <li>○ 本文「神話や伝承、記録などをもとにまとめた歴史書の『古事記』と『日本書紀』,地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記した『風土記』がつくられました。」</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表見返しで「歴史のなかの絵画」(8点)を写真で取り上げ、裏見返しで「各地の主な遺跡・史跡・できごと」を地図で取り上げている。</li> <li>○ 本文中の「世界遺産」,「国宝」,「重要文化財」の資料にマークを付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「国家のしくみが整った8世紀には、神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』という歴史書や、郷土の地理・言い伝えなどを国ごとに記した『風土記』がつくられました。」</li> <li>○ 注釈「神々が国土をつくった『国生み』の神話や、『大国主神と因幡の素うさぎ』の物語などがあります。」</li> </ul>
<b>清水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 裏見返しで「日本の歴史的遺産」(6か所)を地図と写真で取り上げている。</li> <li>○ 本文中の「世界遺産」,「国宝」の資料にマークを付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「朝廷では天皇家や貴族などに伝えられていた神話や地名などにまつわる伝承・記録などを、天皇を中心とした国の成り立ちとしてまとめなおし、8世紀はじめには『古事記』・『日本書紀』(『記紀』)として完成しました。また、国ごとに地理や産物『記紀』とはちがう言い伝えなどをまとめた『風土記』をつくらせた。」</li> <li>○ 注釈「『記紀』や『風土記』の素材となった神話や伝承には、古代日本人のもののみかたや考えかたがあらわれている。たとえば、『八岐大蛇退治』の神話には、川の化身である大蛇をおさめ、豊作を祈った古代人の願いをうかがうことができる。」</li> <li>○ 「深める歴史」2ページで、「神話と伝承」と題して「出雲国風土記」を紹介している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表見返しの「古墳が伝える過去からのメッセージ」で古墳(7か所)を写真で取り上げている。</li> <li>○ 本文中の「世界遺産」,「国宝」の資料にマークを付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「律令国家の成立とともに『古事記』や『日本書紀』という歴史書がつくられました。これは、伝承や説話・神話をもとに、天皇の地位や権力の正当性を明らかにする目的をもって書かれました。産物や地名の由来・伝承などを地方の国ごとにまとめた『風土記』もつくられました。」</li> <li>○ コラムで「古代の神話」について、現在の神事や神楽と古代の神話との関係について説明している。</li> </ul>

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表見返しの「歴史との出会い」で国宝と世界遺産（3点）を写真で取り上げ、裏見返しで「教科書に出てくる主なできごと・史跡・関係地」を地図で取り上げている。</li> <li>○ 「歴史学習の基礎資料」で文化財の種類について説明している。</li> <li>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「国のしくみが整うにつれて、国のおこりや古代の国の中心となる天皇の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつけられました。このほか、全国の国ごとに、自然・産物・地理や伝説などをまとめた『風土記』もつけられました。」</li> <li>○ コラムで「日本の神話」について、大陸やポリネシアなどの太平洋の島々とのかかわりについて説明している。</li> </ul>
<p>自由社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの読み物で伝像の種類について説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文に「神話が語る国のはじまり」というタイトルで2ページにわたって記載し、1時間扱いとなっている。学習項目は「『古事記』『日本書紀』に書かれた神話・伝承」「イザナキ・イザナミとアマテラスの誕生」「天孫降臨と神武天皇」となっている。資料として写真「天照大神をまつる伊勢神宮の内宮正宮」、絵画「岩屋にこもった天照大神をよび出そうとする神々」、図「神々の系図」などが掲載され、3つの注釈がある。</li> <li>○ コラム「もっと知りたい」2ページで、「国譲り神話と古代人」と題して、大国主神の「国譲り」神話を通して古代人のものの考え方を説明している。</li> </ul>
<p>育鵬社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表見返しの「日本の美の形」で芸術作品（20点）を写真で取り上げ、裏見返しで「各地のおもな遺跡・史跡」を地図と写真で取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文「律令のしくみが整い、国際交流もさかんになるなか、わが国にも国家としての自覚が生まれ、国のおこりや歴史をまとめようとする動きがおこりました。まず、『古事記』がつけられ、ついで朝廷の事業として『日本書紀』が編さんされました。『古事記』は、民族の神話と歴史として伝えられたものを記録した、文学的な価値の高い物語であり、『日本書紀』は国家の正史として、歴代の天皇とその歴史が年代順に記されたものです。さらに、朝廷は、国司に命じて、地方ごとに伝説や地理、産物などを調べさせ、『風土記』を編集させました。」</li> <li>○ 「読み物コラム」2ページで、「神話に見るわが国誕生の物語」と題して、イザナギ・イザナミの国生みからヤマトタケルの遠征までを中心に説明している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>	
	<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
	<b>方法</b>	歴史に見られる国際関係や文化交流に関するコラム等の数と具体例

	時代区分 (コラム等の数)	具体例
<b>東書</b>	古代まで	○ コラム等では取り扱っていない。
	中世 (1)	○ ユーラシア世界史の誕生
	近世 (2)	○ 有田焼のルーツ ○ 鎖国が祖法とされる
	近代 (5)	○ 金銀の価値と貨幣改铸 ○ エルトゥールル号遭難事件 ○ 孫文と日本 ○ インターナショナリスト柳宗悦 ○ パレスチナ問題の歴史
	現代 (3)	○ 原水爆禁止運動 ○ キューバ危機 ○ 世界で活躍する日本人
<b>教出</b>	古代まで (1)	○ 古代中国の歴史書に記された倭
	中世 (2)	○ 「日本国王」を名のった足利義満 ○ オホーツク文化
	近世 (3)	○ ほろぼされた中南アメリカの文明 ○ ペリーの那覇・函館寄港 ○ 幕末の国際交流～海を渡った武士たち
	近代 (4)	○ 北海道の開拓とアイヌの人たち ○ 琉球処分～琉球王国の終わり ○ 台湾の植民地化 ○ 日本人が見た三・一独立運動
	現代 (1)	○ 日本の領土をめぐる～北方領土と竹島, 尖閣諸島
<b>清水</b>	古代まで (3)	○ 朝貢のしくみ ○ 玄奘 ○ 阿倍仲麻呂
	中世	○ コラム等では取り扱っていない。
	近世 (4)	○ 天正遣欧少年使節 ○ 雨森芳洲 ○ 大黒屋光太夫 ○ 蘭学と幕府
	近代 (6)	○ 植民地となる前の台湾 ○ 孫文 ○ 魯迅と藤野先生 ○ 野口英世 ○ ガンジー ○ ナチスの政策
	現代	○ コラム等では取り扱っていない。
<b>帝国</b>	古代まで	○ コラム等では取り扱っていない。
	中世 (3)	○ 北と南をおそったもう二つの蒙古襲来 ○ 銅銭 ○ 十三湊
	近世 (6)	○ ヨーロッパの食卓を変えた食材 ○ 世界の銀を支えた石見銀山 ○ 朝鮮半島から伝わった文化 ○ オランダ風説書 ○ 琉球からの使節 ○ 日本の技術
	近代 (4)	○ 中華街の形成 ○ 三・一独立運動 ○ 「モダン」なアメリカ文化 ○ 「命のビザ」を発行した領事
	現代 (4)	○ 核兵器開発競争と日本 ○ 在日コリアン ○ 現在に残る沖縄の基地問題 ○ エルトゥールル号事件のきずな

日 文	古代まで (1)	○ 「日本」と「天皇」
	中世 (2)	○ 宋と高麗 ○ 中世のアイヌ民族
	近世 (3)	○ ルネサンス ○ 一体化する世界と生活の変化 ○ 天正少年使節
	近代 (9)	○ 移民の国アメリカ ○ 朝鮮の開国 ○ 孫文と日本 ○ アジアやアフリカで盛んになった独立運動 ○ 柳宗悦から見た日本の朝鮮支配 ○ 朝鮮と台湾の抵抗運動 ○ 日本の満州支配に反対したジャーナリスト ○ 「命のビザ」で6000人のユダヤ人の命を救った日本人—杉原千畝 ○ 抗日に立ち上がったビルマ人
	現代 (3)	○ 平和記念都市建設と原水爆禁止運動 ○ 平和条約に調印しなかった国 ○ ベトナムとアフガニスタン
自 由 社	古代まで (1)	○ 「日本」という国名のおこり
	中世 (1)	○ 元寇が日本にのこしたもの
	近世 (3)	○ 宣教師の見た日本 ○ 秀吉とバテレン追放令 ○ 世界で花開いた江戸の文化 ゴッホと浮世絵
	近代 (7)	○ 幕末・明治期の日本人の生き方 ○ 福沢諭吉の『学問のすゝめ』と「脱亜論」 ○ 日露戦争をたたかった日本人 ○ 明治国家を背負った政治家・伊藤博文 ○ 世界が見た日露戦争 ○ 戦時国際法と戦争犯罪 ○ 世界が見た大東亜戦争
	現代 (3)	○ 占領下の検閲と東京裁判 ○ 日本の底力を世界に示した東京オリンピック ○ 勇気と友情の物語—世界と交流した近代日本
育 鵬 社	古代まで (4)	○ 日本人の宗教観 ○ 5度の失敗を乗り越え来日した鑑真 ○ 最澄と空海 ○ かな文字の発達
	中世	○ コラム等では取り扱っていない。
	近世 (4)	○ 宣教師の見た日本 ○ 支倉常長—幻となった海外貿易の夢 ○ 浮世絵の影響—「ジャポニスム」 ○ 解体新書と蘭学事始
	近代 (14)	○ 薩長の志士のすぐれた現実認識 ○ 「蛍の光」の歌詞の4番 ○ 外国人が見た日本 ○ 陸奥宗光—条約改正と日清戦争の立役者 ○ 小村寿太郎と日英同盟 ○ 日露戦争を勝利に導いた舞台裏 ○ 台湾にダムをつくった八田與一 ○ 幻の人種平等案 ○ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造 ○ 幻の東京オリンピック ○ 杉原千畝と樋口季一郎 ○ 何がアメリカ国民を戦争に導いたか ○ トインビーが見た「第二次世界大戦と日本」 ○ 昭和20年、戦局の悪化と終戦—さまざまな思い
	現代 (3)	○ 東京裁判 ○ 国民とともに歩んだ昭和天皇 ○ 核と世界

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫及び具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫	具体例
東書	○ 大項目の導入において、1ページにより、小学校で学習した内容を写真やイラストなどを用いて年表にまとめ、時代の流れを外観できるようにしている。また、見開きで、歴史的事象を時代順に配置し、キャラクターの簡潔な問いによって、学習への興味・関心を高めている。	「古代までの日本」 ○ 1ページ目で大極殿の写真を示すとともに、欧米、東アジア、政治、経済・社会・文化の項目ごとに、主なできごとを年表にまとめている。 ○ 吉野ヶ里遺跡、大仙古墳、聖徳太子、法隆寺、東大寺の大仏、正倉院宝物、源氏物語絵巻の写真を時代順に並べている。 ○ キャラクターによる問いや説明を示している。 ・「これはどんな建物かな。」 ・「平城宮って、どんなところだったんだろう。」 ・「これからみなさんは、古代までの歴史を学習します。」 ・「ここでは、古代までにに関する写真が並んでいます。」 ・「この時代がどんな時代か、イメージしてみましょう。」 ・「わたしたちの服装も、参考にしてくださいね。」
教出	○ 大項目の導入において、1ページにより、写真で具体的な歴史的事象を示すとともに、年表で、これから学習する時代を提示している。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	「原始・古代の日本と世界」 ○ 吉野ヶ里遺跡、主祭殿の建物の内部の写真を示すとともに、日本、中国、朝鮮の時代区分を示している。 ○ キャラクターによる問いや説明を示している。 ・「下の写真は、何をしているところかな。」 ・「2枚の写真は、卑弥呼が活躍した時代と同じころの大きな集落を復元した遺跡の様子です。このころは、まだ日本という国家はありませんでしたが、人々はどのような社会を築いていたのでしょうか。これから、さらに時代をさかのぼって、人々の暮らしや社会の歩みについて学習していくことにしましょう。」
清水	○ 大項目の導入において、1ページにより、写真で代表的な歴史的事象を示すとともに、年表で学習する時代を提示している。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	「原始・古代の日本と世界」 ○ 縄文土器の写真を示すとともに、学習にあたっての留意事項を文章でまとめている。 ○ キャラクターによる説明や問いを示している。 ・「これから学ぶ、この章のなかで、自分の疑問の答えをみつけてください。」 ・「このもようは何かしら？どうやってつくったのかな？」 ・「なんか重たそうなものだわ どれくらい前の人がつくった物なのかしら？」 ・「かなり大きいものみたいだけど、何に使ったのかな？」
帝国	○ 大項目の導入において、1ページにより、写真で代表的な歴史的事象を示すとともに、年表で学習する時代を提示している。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	「古代国家の成立と東アジア」 ○ 岩宿遺跡の発掘のようす、岩宿遺跡復元模型の写真を掲載している。 ○ キャラクターによる説明や問いを示している。 ・「これはいつごろのようすなんだろう。使っている道具や服装からも、かなり古い時代みたい。」 ・「何をもとにしてこの模型は復元されたのかな。」 ・「これは旧石器時代といわれる時代の生活のようすだよ。実際にこの模型の時代にタイムトラベルして、もっと詳しくみてみよう。」

日 文	<p>○ 大項目の導入において、見開き4ページを割り当て、最初の見開きで、写真やイラストなどによって代表的な歴史的事象を提示し、次の見開きで、地図や年表によって時代の流れや世界の歴史を外観できるようにしている。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「古代までの日本」</p> <p>○ 最初の見開きで、猿人のくらしのようすなどを示すイラストを掲載している。また、次の見開きで、主なできごとを年表にまとめ、世界地図や日本の周辺図を用いて、日本の歴史の背景となる世界の歴史をまとめている。</p> <p>○ キャラクターによる説明や問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人類の歴史 500 万年を 1 年にたとえると、農耕を始めた約 1 万年前は 12 月 31 日 6 時 28 分、世界の古代文明が始まった約 5000 年前は 12 月 31 日 15 時 14 分になるそうだよ。」</li> <li>・「人々は、気候の変化に、どのように対応して生活したのだろうか。」</li> </ul>
自 由 社	<p>○ 大項目の導入において、1 ページにより、写真で代表的な歴史的事象を示している。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「古代までの日本」</p> <p>○ 平城京跡の写真と唐の長安を示す図を掲載している。</p> <p>○ キャラクターによる説明や問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1300 年前の奈良時代、平城京の跡を写した航空写真ですね。碁盤目になっていて、唐の長安とそっくりだわ。」</li> <li>・「でもね、重要な違いが一つあるんだ。」</li> </ul>
育 鵬 社	<p>○ 大項目の導入において、折込みページでイラストや写真などで代表的な歴史的事象を提示するとともに、次ページで写真や年表を用いて、時代の流れを外観できるようにしている。また、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「原始と古代の日本」</p> <p>○ 折込みページで、各時代の歴史の大きな流れをイラストによって示している。また、折込みの裏面で、代表的な歴史的事象である三内丸山遺跡をイラストや写真によって示している。</p> <p>○ 2 ページ目で、年表を用いて時代区分を示すとともに、遣唐使船の絵図を掲載している。</p> <p>○ キャラクターによる説明や問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食料や水も積むから荷物も多いし、寝る場所は狭かったと思うわ。」</li> <li>・「暴風雨で難破したり遭難する船が多かったそうだよ。」</li> <li>・「実に危険な航海だった。それでも、唐の文化を取り入れるために命がけで出航したのだね。」</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	「身近な地域の歴史」を調べる手順及び視点やポイント

	調べる手順	視点やポイント
東書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを決める</li> <li>2 調べる</li> <li>3 考察する</li> <li>4 発表する</li> <li>5 見直す</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「第1章 歴史のとらえ方」において、「歴史の調べ学習をするには…？」という項を設けて、調べ学習におけるポイントについて記述している。</li> <li>○ また、各大項目の終わりに、「わたしたちの歴史探検隊 地域の歴史を調べてみよう」というコーナーを設け、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>
教出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 遺跡などを訪ねる</li> <li>2 学芸員に質問する</li> <li>3 インターネットのホームページで調べる</li> <li>4 近所に住むお年寄りにたずねる</li> <li>5 郷土資料館などを見学する</li> <li>6 歴史新聞にまとめる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大単元において、「郷土の歴史を探ろう」というコーナーを設け、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>
清水	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を探す（地図を見てみつけよう、外を歩いてみつけよう）</li> <li>2 課題を調べる（図書館、インターネット）</li> <li>3 フィールドワークの準備</li> <li>4 課題を深める（博物館、資料館で一次資料にあたる）</li> <li>5 課題をまとめる（パワーポイント）</li> <li>6 課題を発表する</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「第3章 近世の日本と世界」において、「身近な地域を調べよう」というコーナーを設けて、フィールドワークにおけるポイントについて記述している。</li> </ul>
帝国	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を決める（地域の歴史を探そう、課題を決めよう）</li> <li>2 調べる（基本情報から仮説を立ててみよう、記録をとる準備をしよう、専門の情報を集めよう、野外調査をしよう、聞き取り調査をしよう）</li> <li>3 深める・まとめる（資料を整理しよう、ふりかえりと再追究、まとめをつくろう）</li> <li>4 発表する</li> <li>5 評価する（他の人の意見を評価しよう、意見を交換して調べた結果を共有しよう）</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末において、「地域調査・まとめ発表マニュアル」という項目を設けて、「課題決定」「文献調査」「野外調査」「追究・まとめ」「発表」「評価」という段階ごとの学習活動のポイントを記述している。</li> </ul>
日文	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館やインターネットを利用して、調べたいことを確かめる</li> <li>2 グループごとにテーマを決める</li> <li>3 歴史博物館で調べる</li> <li>4 調べたことを新聞形式にまとめ、学校のホームページにのせるなど、広く発表する</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大単元において、「でかけよう！地域調べ」というコーナーを設け、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>
自由社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 疑問を出し合おう</li> <li>2 図書館で調べよう</li> <li>3 現地に行ってみよう</li> <li>4 調べた結果を発表しよう</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「序章 歴史のとらえかた」に「地域の歴史を調べる」という節を設けて、東京都渋谷区について、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>
育鵬社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何を調べるか</li> <li>2 どうやって調べるか（観光課・観光協会、図書館、博物館）</li> <li>3 まとめよう（ポスター、ビデオ、パソコン）</li> <li>4 発表しよう（プレゼンテーション）</li> <li>5 評価をしよう（評価カード、意見交換）</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題学習」のコーナーにおいて、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>

<b>視点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習の事例数と具体例

	事例数	作業的・体験的な学習の具体例
東書	13	○ 見学(学芸員の方などにたずねよう), 年表にまとめよう, 「人物カード」で古代をまとめよう, 伝統産業を見にいこう, レポートにまとめよう, 伝統的工芸品にトライ, プレゼンテーション・ソフトで発表しよう, 「歴史新聞」で近世をまとめよう, イラストマップをつくろう, 情報発信にチャレンジ(ホームページづくり), 聞き取り調査(「いわき市石炭・化石館」, 「みろく沢炭鉱資料館」, 「スパリゾートハワイアンズ」), 年表づくり, 「ディスカッション」や「ディベート」をしてみよう
教出	6	○ 「人物カード」をつくろう, 土器づくりや料理づくりの体験, 歴史新聞づくり, ミニレポートづくり, 討論会, 歴史新聞づくり
清水	7	○ 時代の特色をあらわすキャッチコピーを考えよう, 人物カルタを作ってみよう, ポスター作りをしてみよう, お気に入りの年表を作ろう, プレーンストーミング, レポートづくり(パワーポイント), 聞き取り調査
帝国	4	○ 歴史人物カードを使ってみよう, レポートづくり, インターネットでの紹介, 話し合い(フリートーク, グループディスカッション, パネルディスカッション, ディベート)
日文	6	○ 方眼紙の中に印の大きさを書いてみよう, 史跡見学, 白地図作業, 歴史新聞づくり, 比較表づくり, 戦争遺跡の見学
自由社	6	○ 年表づくり, フィールドワーク, 人物カードをつくろう, 800字の人物伝記, 現地に行ってみよう, スピーチ原稿を書いてみましょう
育鵬社	8	○ 発表しよう(プレゼンテーション), 歴史人物Q&Aカードをつくろう, 遺跡見学, 奈良の仏像ガイドづくり, 京都の名所ガイドづくり, 歴史新聞をつくろう, 歴史のロールプレイをしてみよう, キャッチフレーズづくり

<b>視点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦単元・題材や資料等の配列・分量
<b>方法</b>	各時代区分のページ数

	総ページ	歴史の とらえ方	古代	中世	近世	近代	現代	その他
東書	269	12	40	32	42	92	31	20
教出	278	3	40	36	44	102	32	21
清水	299	7	52	32	56	102	29	21
帝国	282	10	38	36	52	94	24	28
日文	282	8	44	36	52	96	28	18
自由社	279	18	54	26	42	96	26	17
育鵬社	270	12	46	26	50	90	21	25

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記述の状況
<b>方法</b>	発展的な学習の事例数と事例

	事例数	発展的な学習の事例
東書	12	○ 各大項目において、本文の学習内容を深める「深めよう」というコーナーを設けている。 「ヨーロッパの古代文明とイスラム教」、「考古学のとびら」、「東アジア世界の朝貢体制と琉球王国」、「室町時代の生活文化と現代」、「アイヌ民族の歴史」、「江戸のエコ社会」、「『解放令』から水平社へ」、「足尾銅山と田中正造」、「パレスチナ問題の歴史」、「すべての子どもに教育を」、「現代の環境問題」、「日本社会の変化とマスメディア」
教出	23	○ 各大項目において、本文の学習内容を深める「郷土（資料・地域・人物・世界）の歴史を探ろう」というコーナーを設けている。 「地球の歴史をたどって」、「地域の遺跡や古墳を訪ねて」、「木簡が語る人々の暮らし／文字の移り変わり」、「伊治皆麻呂の乱と阿弼流為の戦い」、「中世のキリスト教とイスラム教」、「地頭と訴える農民／中世の市を訪ねて」、「地域の寺社や墓碑を訪ねて」、「働く女性や子どもたち」、「戦乱の世に自治を求めて」、「銀で結びつく世界／宣教師が見た日本」、「大名行列と江戸城」、「歴史のなかの農作物」、「地域の街道や港を訪ねて」、「リサイクル都市・江戸の町人」、「坂本龍馬と横井小楠」、「改革や平等を求めて」、「植木枝盛と中江兆民、津田梅子」、「アイヌの人たちの文化」、「ハワイへ移住した日本人／未踏の大陸と極点を目ざして」、「大正・昭和初期の面影を訪ねて」、「浅川巧と杉原千畝」、「移り変わる戦後の街を訪ねて」、「平和を願う人々」
清水	15	○ 各大項目において、本文の学習内容を深める「深める歴史」というコーナーを設けている。 「地球カレンダーとヒトの歴史」、「原始の時代を知る方法」、「資料を読み取ろう」、「神話と伝承」、「宮廷の女性と仮名文字」、「絵画資料にみる人びとの生活」、「アジアの船と海上交通」、「人物を調べてみよう」、「日本の人口」、「身近な地域を調べよう」、「江戸から東京へ」、「東アジアのうごきと留学生」、「明治・大正期の食生活～洋食の成立～」、「証言・体験記録からみえてくる戦争」、「日本文化としてのマンガ」
帝国	6	○ 各大項目において、本文の学習内容を深める「歴史に挑戦」というコーナーを設けている。 「死因不明の人骨が見つかる！」、「韓国新安沖から沈没船が見つかる！」、「一揆軍、外国船に砲撃される！」、「土佐藩の浪人が京都で殺害される！」、「日本の行方を問う本が発刊される！」、「政府と軍を批判した議員、除名される！」
日文	10	○ 各大項目において、本文の学習内容を深める「歴史を掘り下げる」というコーナーを設けている。 「渡来人と渡来文化」、「古代から中世への土地制度の移り変わり」、「中世の女性たち」、「幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル」、「文化財を守り伝える仕事」、「新しい世の中をめざした人々」、「欧米に学び、日本を見つめ直す」、「平等な社会をめざして」、「日本人の海外移民」、「アイヌと沖縄の近代と現代」
自由社	10	○ 各大項目において、「もっと知りたい」というコラムを設けている。 「岩宿遺跡を発見した相澤忠洋」、「国譲り神話と古代人」、「『日本』という国名のおこり」、「武士のおこりと鎌倉幕府」、「明治維新とは何か」、「日露戦争をたたかった日本人」、「戦時国際法と戦争犯罪」、「占領下の検閲と東京裁判」、「日本の底力を世界に示した東京オリンピック」、「勇気と友情の物語ー世界と交流した近代日本」
育鵬社	5	○ 「課題学習」のコーナーを設け、本文に関連するできごとや歴史上の人物などについて記述している。 「古墳探訪」、「奈良・京都の文化遺産を調べてみよう」、「城を探検してみよう」、「お雇い外国人」、「歴史新聞をつくろう／歴史のロールプレイをしてみよう」

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料の種類と掲載数

	資料の種類と掲載数（近代の日本と世界）							折り込み年表の扱い
	写真	絵図	地図	年表	図表	グラフ	文章	
東書	122	56	24	3	12	18	23	○ 教科書の巻末で、三つ折りの両面に掲載している。
教出	129	78	28	3	7	22	14	○ 教科書の巻末で、二つ折り及び三つ折りの片面に掲載している。
清水	101	78	23	2	3	11	11	○ 教科書の中ほどで、四つ折りの両面に掲載している。
帝国	88	64	33	6	11	19	28	○ 教科書の巻末で、二つ折りの両面に掲載している。
日文	115	56	33	8	13	20	13	○ 教科書の巻末で、二つ折りの両面2ページと、片面1ページに掲載している。
自由社	97	57	22	3	8	5	23	○ 教科書の巻末で、見開き3ページに掲載している。
育鵬社	115	61	26	2	12	14	9	○ 教科書の巻末で、三つ折りの両面に掲載している。

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑩本文以外の記述の工夫
<b>方法</b>	脚注・側注等の扱いと掲載数

	脚注・側注等の扱い	掲載数
東書	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述している。 ○ 「確認」というコーナーを設け、学習した内容の確認や、さらに深めたりする課題が例示されている。	183
教出	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述している。 ○ 「トライ!」というコーナーを設け、学習した内容の整理や、さらに深めたりする課題が例示している。 ○ 掲載された資料の側に「読み解こう」というコーナーを設け、資料を読み取るポイントと、考察する問いを示している。	297
清水	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述している。 ○ 「まとめてみよう」、「考えてみよう」というコーナーを設け、学習した内容の整理や、さらに深めたりする問いが例示している。	206
帝国	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述している。 ○ 「チェック&トライ」というコーナーを設け、学習した内容の重要なポイントや、さらに深めたりする問いが例示している。	292
日文	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述するとともに、「キーワード」や「豆知識」というコーナーを設け、本文の内容を補足している。 ○ 掲載された資料の側に固有のマークを付けて、資料を読み取って考えるポイントと、学習した内容を活用する問いを示している。 ○ 「学習課題を確かめよう」というコーナーを設け、学習した内容の確認や、さらに深めたりする課題が例示されている。	343
自由社	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述するとともに、「歴史の言葉」というミニコーナーにより、時代の特色を理解する上で重要な用語を解説している。 ○ 「ここがポイント!」というコーナーを設け、学習した内容の要点が示されている。	256
育鵬社	○ 本文中の用語の解説を脚注・側注で記述している。	202

<b>観点</b>	(オ) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫
<b>方法</b>	小單元における問いの構成

小單元における問いの構成(近世の日本と世界)	
東 書	「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」 ○ イスラム教の広がりや宗教改革によって、キリスト教世界はどのように変化したのでしょうか。 ○ ヨーロッパ人は、どのようにして世界に進出していったのでしょうか。 ○ ヨーロッパ人の来航によって、日本はどのように変わったのでしょうか。 ○ 織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一を進めたのでしょうか。 ○ 豊臣秀吉は、国内でどのような政策をとり、どのような対外関係を持ったのでしょうか。 ○ 安土桃山時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。
	「結びつく世界との出会い」「天下統一への歩み」 ○ 日本が室町時代のころ、世界ではどのような動きが起こったのでしょうか。 ○ ヨーロッパ人がアジアを目ざしたのは、なぜでしょうか。 ○ 日本に現れたヨーロッパ人は、何をもちたらし、それは日本にどのような影響を与えたのでしょうか。 ○ 織田信長と豊臣秀吉は、どのように天下統一を進めたのでしょうか。 ○ 天下統一を果たした豊臣秀吉は、人々をどのように支配したのでしょうか。 ○ 戦乱の世には、どのような文化が生まれたのでしょうか。
清 水	「ヨーロッパの拡大とアジアの交易」「戦国大名と全国統一」 ○ 中世から近世のヨーロッパはどんな社会だったのだろうか？ローマ教会の役割に注目しよう。 ○ ヨーロッパ人たちは、新しい航路を利用して、どのような活動をしたのだろうか？ ○ 多くの人をとりこにした中国の物産はなんだろうか？それと交換されたものにも注目しよう。 ○ 知っている戦国大名をあげてみよう。戦国大名は勢力を強めるために何をしたのだろうか？ ○ 鉄砲やキリスト教は、いつごろ、だれによって伝えられたのだろうか？ ○ 信長は、これだけの鉄砲をどのようにそろえたのだろうか？ ○ 秀吉がおこなった政策には、どのようなものがあつたのだろうか？ ○ ポルトガル人やスペイン人はどのようなものを日本に伝えたのだろうか？
	「大航海によって結びつく世界」「戦乱から全国統一へ」 ○ イスラム勢力の拡大は、ヨーロッパにどのような影響を与えたでしょうか。 ○ ヨーロッパの国々が新航路を開拓したのはどのような理由からでしょうか。 ○ 鉄砲とキリスト教はどのようにして日本に伝わり、広がったでしょうか。 ○ 織田信長と豊臣秀吉はどのようにして全国を統一していったでしょうか。 ○ 秀吉の政策によって、どのような社会の土台がつけられたでしょうか。 ○ 信長や秀吉が支配した時代には、どのような文化が生まれてきたでしょうか。

<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p>「中世から近世へ」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キリスト教とイスラム教は、それぞれどのように発展したのだろうか。また、その文化はどのようにアジアに伝わったのだろうか。</li> <li>○ ヨーロッパ人が、航海や探検に乗り出し、世界が一つにつながれていくのは、なぜなのだろうか。</li> <li>○ ヨーロッパ人の来航によって、日本はどう変わっていくのだろうか。</li> <li>○ 天下統一を果たした豊臣秀吉は、どのようにして人々を支配していったのだろうか。</li> <li>○ 秀吉は、どのような貿易を行い、なぜ朝鮮を侵略したのだろうか。</li> <li>○ 安土桃山時代の文化は、どのような特徴をもち、どのような人々がつくりあげたのだろうか。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">自 由 社</p>	<p>「戦国時代から天下統一へ」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戦国大名はどのように日本の社会を変えていったのだろうか。</li> <li>○ ヨーロッパ人はなぜ世界に進出しはじめたのだろうか。</li> <li>○ ヨーロッパ人がもたらした鉄砲とキリスト教は、日本社会にどんな影響を与えたのだろうか。</li> <li>○ 織田信長と豊臣秀吉はどのように全国統一を進めたのだろうか。</li> <li>○ 秀吉の政治は、どのような特徴をもっていたのだろうか。</li> <li>○ 桃山文化にはどのような特徴があるのだろうか。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">育 鵬 社</p>	<p>「ヨーロッパ人との出会い」「信長・秀吉の全国統一」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパ人が世界に進出するようになったのはなぜだろうか。</li> <li>○ 日本に伝わった鉄砲やキリスト教は時代をどう変えたのだろうか。</li> <li>○ 信長や秀吉はどのようにして全国統一をおし進めたのだろうか。</li> <li>○ 秀吉の政治はどのようなものだったのだろうか。</li> <li>○ 桃山文化はどのような特色をもっていたのだろうか。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
<b>方法</b>	まとめ方の種類と具体例

	種 類	具体例
東 書	年表, レポート, プレゼンテーション・ソフト, イラストマップ, ホームページ, 人物カード, 歴史新聞, 比較表, 模式図, デイバート, ディスカッション, グラフ, 論文, マンガ, イラスト, 劇, 短い文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イラストマップをつくる</li> <li>・調べた内容について, イラストマップをつくってまとめることにしました。</li> <li>・文字だけでなく, イラストや写真を使って説明しよう。</li> <li>・地図をつくるときには, 説明のスペースを考えて構成しよう。</li> <li>・自分たちが歩いたルートを参考に, 見学ルートを考えて, 地図上に示してみよう。</li> </ul>
教 出	歴史新聞, レポート, 仮想の討論会, 地図, 年表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近世の時代の特色を考えよう</li> <li>・「浮世絵(錦絵)」をテーマに取り上げ, 江戸時代の特色についてミニレポートにまとめてみました。</li> <li>・文化のほかに, 政治のしくみや社会の動きなどをテーマに取り上げてもよいですね。</li> </ul>
清 水	キャッチコピー, 人物カルタ, ポスター, 年表, レポート, プレゼンテーション・ソフト, スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題をまとめる</li> <li>・調べたことからわかったことをまとめましょう。</li> <li>・調べることによってうまれた新たな課題や, さらに深く調べたいことなども書きましょう。</li> </ul>
帝 国	レポート, 地図, 関係図・流れ図, 年表, イラスト, ホームページ, 自由討論, ディスカッション, デイバート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レポートのまとめ方</li> <li>・なぜ調べたかを書こう。</li> <li>・よくわからないこと・疑問点をはっきりさせ, 自分の推理や仮説を書こう。また推理の根拠となることを示そう。</li> <li>・推理はいろいろな角度から考えて書き, 可能性の高いものを理由をあげて自分の結論として示そう。</li> <li>・わかったことを大きな項目・小さな項目に整理しよう。</li> <li>・証拠となる資料を写真・図・グラフなどで表そう。</li> <li>・全体を通してわかったこと・わからなかったことを書こう。</li> <li>・今後の課題も書いておこう。</li> </ul>
日 文	ホームページ, 歴史新聞, 地図, 年表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことをまとめる</li> <li>・調べたことを新聞形式にまとめ, 学校のホームページにのせるなど, 広く発表する。</li> <li>・だれに向けてどんなことを伝えたいのか考える。</li> <li>・調べたことを自分の言葉に書き直して記事にする。</li> <li>・文章以外に, イラストや写真を入れてわかりやすい紙面を心がける。</li> <li>・新聞をつくって考えたことを書くコーナーを必ず設ける。</li> </ul>
自 由 社	年表, レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べた結果を発表しよう</li> <li>・ここに示した手順・方法で, あなたの地域でも調査してみましょう。</li> </ul>
育 鵬 社	ポスター, 映像, 歴史人物カード, 歴史新聞, ロールプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べるポイント</li> <li>・クラスでの発表(プレゼンテーション)ができるような形にまとめる。</li> <li>・聞き手にとって, わかりやすい発表をくふうしよう。</li> <li>・調べるときに, 苦労したことやおもしろいエピソードなどもあれば発表しよう。</li> <li>・調べる前と後での, 自分の考え方の変化を伝えよう。</li> </ul>